



(別添)

2022年11月24日  
NITE(ナイト)  
独立行政法人製品評価技術基盤機構  
中国支所

## News Release

冬の火災は『ゼロ距離』と『ほったらかし』に注意！  
～電気暖房器具は使う前に点検も！～

—中国5県版—

### 1. 事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>では、電気暖房器具に関する事故<sup>※2</sup>は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2017年度から2021年度までの5年間に19件<sup>※3</sup>ありました。

- (※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報(被害なし)を含む。
- (※2) 電気こたつ及び電気ストーブ(石英管ヒーター、カーボンヒーター、シーズヒーター、ハロゲンヒーター、パネルヒーター、電気ファンヒーター、オイルヒーターなど)を指す。
- (※3) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

#### (1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1に「年度別・県別」電気暖房器具に関する事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」電気暖房器具に関する事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2017年度		1	1	1	3	6
2018年度				2	1	3
2019年度	1		2	1		4
2020年度				2		2
2021年度	1		1	2		4
合計	2	1	4	8	4	19

(2) 中国 5 県の被害状況別 事故発生件数

表 2 に「被害状況別・県別」電気暖房器具に関する事故発生件数を示します。

表 2 「被害状況別・県別」電気暖房器具に関する事故発生件数

被害状況 <sup>※4</sup>		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
人的被害	死亡						0
	重傷						0
	軽傷				1	1	2
物的被害	拡大被害		1	3	4	2	10
	製品破損	2		1	3	1	7
被害なし							0
合計		2	1	4	8	4	19

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国 5 県の事故原因区分別 事故発生件数

表 3 に「事故原因区分別・県別」電気暖房器具に関する事故発生件数を示します。

表 3 「事故原因区分別・県別」電気暖房器具に関する事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの	1		2	2	1	6
B：製品及び使い方に問題があったもの						0
C：経年劣化によるもの						0
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの						0
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの				1	2	3
F：その他製品に起因しないもの			1			1
G：原因不明のもの（G3を除く）		1	1	4	1	7
H：調査中のもの	1			1		2
合計	2	1	4	8	4	19

## 2. 事故事例の概要について

中国5県で発生した、電気暖房器具の主な事故事例を示します。

### ○電気ストーブをつけたまま就寝したため、周囲の可燃物に着火した事故

2018年1月（山口県、80歳代・女性、軽傷）

#### 【事故の内容】

使用中の電気ストーブ付近から出火して、周辺を焼損し、家人1人が火傷を負った。

#### 【事故の原因】

電気ストーブを使用したまま就寝したため、近くにあった可燃物が接触し、発火したものと推定される。

なお、取扱説明書には、「燃えやすいものの近くで使用しない。就寝中は使用しない。火災の原因となる。」旨、記載されている。

### ○電源コードを自己修理したが、不十分な修理部に接触不良が起き、発火に至った事故

2019年1月（山口県、年齢・性別不明、拡大被害）

#### 【事故の内容】

電気ストーブを使用中、電気ストーブ及び周辺を焼損する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

使用者が、電気ストーブのスタンド部内部で電源コードを手より接続したため、電源コードの接続部で接触不良が生じて異常発熱し、出火に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「使用中に不具合が生じた場合は、分解せずに販売店に連絡する。」旨、記載されている。

### ○製造不良で内部配線の接続部に接触不良があり、発熱・発火に至る事故

2020年1月（岡山県、50歳代・男性、拡大被害）

#### 【事故の内容】

電気ストーブを焼損する火災が発生した。

#### 【事故の原因】

電気ストーブの電源電線とヒーター管を接続する接続端子の接触不良等により、発熱・発火したものと考えられる。

### 3. 電気暖房器具関連の実験映像について

電気暖房器具についての実験映像及び静止画をご希望の場合は、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITE のロゴ」としてください。

**(本件に関するお問い合わせ先)**

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館

独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所

担当者：東瀬、折田

電話：082-211-0411

以上